

令和8年度主催事業

ペルセウス座流星群観察会 in 英彦山

- 期 日：令和8年8月13日（木）～14日（金）
- 参加者：203人（宿泊参加者103人、日帰り参加者100人）
- 目 標：英彦山での星空教室及びペルセウス座流星群の観察を通して、星空観察の楽しさや自然の雄大さを実感し、宇宙や自然科学への興味・関心を高めるとともに、星空や宇宙に親しもうとする心を育てる。

星空教室の様子



講師 浅海 泰司 氏



星空教室は、子どもたちを対象とした「子ども向け星空教室」と、専門講師を招いて星空や天体についてより詳しく学ぶ「専門講師による星空教室」の2種類を実施しました。子ども向け教室では、星や宇宙について分かりやすく紹介し、楽しみながら星空に親しめる内容としました。専門講師による教室では、ペルセウス座流星群の特徴や流星が見える仕組みなどについて詳しく解説していただき、参加者がより深く天体や宇宙について学ぶ機会となりました。対象や内容に応じた2つの教室を実施することで、幅広い年代の参加者に星空への興味・関心を持ってもらうことができました。



星空観察の様子

星空観察では、開始時は曇り空のため星がほとんど見えない状況でしたが、時間の経過とともに雲が切れ、徐々に星空を観察することができました。

特に、夏の代表的な星座の目印となる「夏の大三角」も確認することができ、参加者は実際の夜空を見上げながら星々を探しました。

観察時間終了間際には、明るく大きな流星が1つ観察され、参加者から歓声上がる場面もありました。その後も数個の流星を確認することができ、天候に恵まれない時間帯がありながらも、ペルセウス座流星群の観察を楽しむことができました。

